

■問1 基本情報 / 2. 貴事業所について教えてください → 以下の表についての抽出方法

(2) 介護保険による福祉用具貸与件数と委託先（レンタル卸等）を使用した貸与件数	①介護保険による福祉用具貸与件数		②うち、委託先（レンタル卸等）を使用した貸与件数	
	平成30年 1月分	件	件	件
	平成31年 1月分	件	件	件
	令和 2年 1月分	件	件	件

① 「売上／仕入実績」タブの「売仕実績」を起動してください。

※左図のように検索条件を指定したうえで、売仕実績明細のエクセルを作成します。

- ア：処理年月、提供年月はすべて「H30/1」としてください。  
※一回の処理で一ヶ月分しか処理できません。調査すべき月が三種類ありますので三回の処理が必要となります。
- イ：全休止、全額未計上の「除く」のチェックを外してください。  
↳ 閉じるキーの横の↓キーを押下することで指定できるようになります。  
※貸与件数なので、休止未計上分についても売上はゼロですが対象となります。
- ウ：設定内容を確認のうえ「エクセル」キーを押下してください。

②以下の結果が表示されますので、全選択を行い、挿入タブの「ピボットテーブル」をクリックしてください。

ア：表の左上部をクリックすることで、全選択された状態となります。  
※全行が選択されたグレー背景色となります。

イ：挿入タブを選択してください。

ウ：画面の左上部にある「ピボットテーブル」部分をクリックし、その結果表示されるメッセージには「OK」で応答してください。

↓以下のようなピボットテーブルの処理画面が表示されます。

ピボットテーブルのフィールド

レポートに追加するフィールドを選択してください:

- 処理年月
- 事業所コード
- 事業所名
- 代理店コード
- 代理店名
- 顧客コード
- 顧客名
- 顧客名カナ
- 生年月日
- 性別
- 標準年月

次のボックス内でフィールドをドラッグしてください:

▼ フィルター	■ 列
■ 行	Σ 値

※次ページの通りに設定願います。

### ③ピボットテーブルの指定と結果表示の見方

A	B	C	D	E	F
1	保険一般区分名	保険			
2					
3	行ラベル	個数 / 顧客コード			
4	レッツ・レンタル(自社)	23			
5	レンタル卸株式会社	11			
6	株式会社〇〇卸	24			
7	仕入先〇〇株式会社	4			
8	総計	62			

【作成要領】

- ・(ア)の領域から「保険一般区分名」を探して、(イ)のフィルター欄にドラッグしてください。
- ・(ア)の領域から「仕入先名」を探して、(ウ)の行欄にドラッグしてください。
- ・(ア)の領域から「顧客コード」を探して、(エ)のΣ値欄にドラッグしてください。

注：現在、「個数/顧客コード」となっていますが、ここが他の設定の場合は、左でワンクリックし、「フィールドの設定」画面を表示し、計算の種類を「個数」としてください → 顧客コードの個数とは、値の種類、つまり貸与件数となります。

- ・設定が終わると、このサンプルのように数値が集計されます。最後にB1セルの内容を保険と指定することで完成です。
- ・総計が福祉用具貸与件数で、仕入先名のうち自社在庫を表す行の数を減じた値が委託先を使用した貸与件数となります。

ここで、あいまい検索することで項目を探せます

右の設定後、最後名にここを「保険」だけに絞り込みます。(一般は対象外のため)

ピボットテーブルのフィールド

レポートに追加するフィールドを選択してください:

検索

- 処理年月
- 事業所コード
- 事業所名
- 代理店コード
- 代理店名
- 顧客コード
- 顧客名
- 顧客名カナ
- 生年月日
- 性別

次のボックス間でフィールドをドラッグしてください:

フィルター	列
保険一般区分名	
行	Σ 値
仕入先名	個数 / 顧客コード

注

※この処理で平成30年1月度分の貸与件数が分かりました。  
残り平成31年1月分、令和2年1月分につきましては、再度前ページの①項から繰り返して処理してください。

値フィールドの設定

ソース名: 顧客コード

名前指定(C): 個数 / 顧客コード

集計方法	計算の種類
値フィールドの集計(S)	
集計に使用する計算の種類を選択してください	
選択したフィールドのデータ	
合計	
個数	
平均	
最大	
最小	
積	

表示形式(N)    OK    キャンセル

青線枠を左ワンクリックすると左図のウィンドウが開きますので「個数」としてください。

■問6 モニタリング、メンテナンスの頻度 / 1.貸与件数について → 以下の表についての抽出方法

事業所において種目別に最も貸与件数が多い1商品（令和元年度分）について、平成31年4月～令和2年3月の実績について回答してください。

	TAISコード又は届出コード	延べ貸出月数（※）	新規利用開始の利用者数（実人数）	利用を終了した利用者数（実人数）	(サービスコード)
(1) 車いす		月	人	人	171001
(2) 特殊寝台		月	人	人	171003
(3) 手すり		月	人	人	171007
(4) 歩行器		月	人	人	171009
(5) 歩行補助つえ		月	人	人	171010

※延べ貸出月数：利用者別貸出月数の合計（利用者30人にそれぞれ4か月貸与 = 120月）

貸出月数は、1か月分の介護保険請求を行った場合のみを対象（1か月に満たないものは含めない）とする。

- ・ケアレンツでは、このような資料を作成することを目的としていないため、作成するためには非常に複雑なエクセル操作が必要となりますことを予めご了承ください。

①「売上／仕入実績」タブの「売仕実績」を起動してください。

検索条件は、処理年月と提供年月のみとします。  
※今回は実績についての調査ですので、休止未計上は除外します。

※対象範囲が一年間ですので、検索結果が10,000行を超える可能性があります。超えた場合はエクセル出力することができません。

件数が多い事業所様は、「エクセル」ではなく「CSV出力」を行ってください。保存結果のCSVファイルの拡張子を「xlsx」に変更することでエクセルで開くことができ、後続の処理を行うことができます。

②表示結果のエクセルから、不要な列を削除し、下表の列構成としてください。

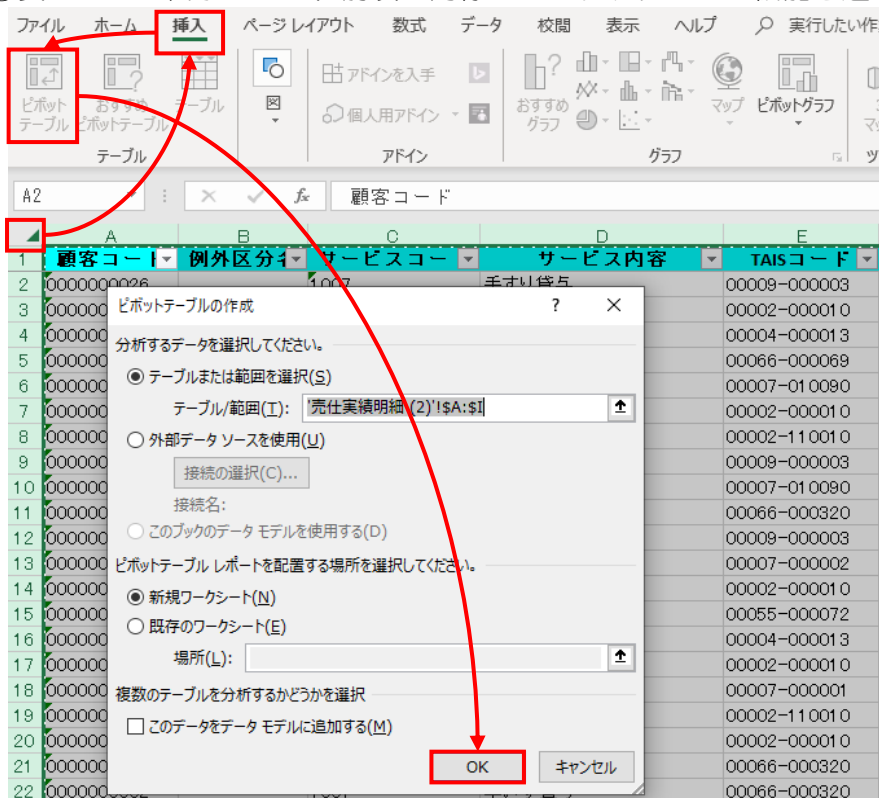
	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	顧客コード	例外区分名	サービスコード	サービス内容	TAISコード	保険一般区分名	レンタル開始日	レンタル終了日	売上計算区分名
2	0000000026		1007	手すり貸与	00009-000003	保険	H28/06/25		
3	0000000026		1008	特殊寝台貸与	00002-000010	保険	H30/06/20		
4	0000000026		1004	特殊寝台付属品貸与	00002-000100	保険	H30/06/20		
5	0000000026		1004	特殊寝台付属品貸与	00002-000300	保険	H30/06/20		
6	0000000026		1004	特殊寝台付属品貸与	00002-000300	保険	H30/06/20		
7	0000000026		1001	車いす貸与	00004-000013	保険	H30/10/01		
8	0000000026		1010	歩行補助つえ貸与	00066-000069	保険	H30/10/01		

③次に、不要な行を削除します。非表示だけではピボットテーブルでの集計対象から除外することができません。お手数ですが、確実に削除願います。

- B列「例外区分名」は、フィルタで空白以外（返戻、請求保留、過誤等）を表示させ、すべて行削除してください。
- C列「サービスコード」は、フィルタで指定されている値（1001/1003/1007/1009/1010）以外を表示させ、すべて行削除してください。
- F列「保険一般区分名」は、フィルタで一般を表示させ、すべて行削除してください。
- I列「売上計算区分名」は、フィルタで半額、未計上を表示させ、すべて行削除してください。

※一つ目の削除後に、フィルタで残した値を再選択したうえで、次項目の削除を行うようにしてください。

④表の加工が終了したら、前項と同様にピボットテーブル機能を起動します。



- 表の全選択 → 挿入タブ表示 → ピボットテーブルをクリック → メッセージ表示に対して「OK」で応答してください。

⑤まずは、サービス種目別に貸与件数が一番多い商品(=TAISコード)を調べます。

サービスコード	TAISコード	個数 / 顧客コード
1001		122
00002-000105		9
00002-110010		71
00004-000013		17
00066-000320		25
1003		118
00002-000010		118
1007		137
00007-000001		17
00007-000002		20
00009-000003		60
00055-000072		36
11111-222222		4
1009		59
00007-010090		52
00125-000011		7
1010		12
00066-000069		12
(空白)		
(空白)		
総計		448

- (ア) の領域から「サービスコード」、「TAISコード」を (イ) 行欄にドラッグします。
- (ア) の領域から「顧客コード」をドラッグします。
- 左側に、サービスコード毎のTAISコード別に顧客数が集計されます。
- (エ) サービスコードは、前項で指定された値だけに絞られてることが確認できます。  
 “1001”：車いす貸与  
 “1003”：特殊寝台貸与  
 “1007”：手すり貸与  
 “1009”：歩行器貸与  
 “1010”：歩行補助つえ貸与

- この操作で、対象期間(令和元年度)中の実績において、指定されたサービス毎の貸与数が一番多い商品(=TAISコード)を調べることができました。  
 ※あとの処理の中で、抽出する際に使用しますので、この結果を印刷しておいてください。

⑥ピボットテーブル処理の元となったシートに戻り、以下のように加工してください。

	A	C	E	G	H	J	K	L	M
	顧客コード	サービスコード	TAISコード	レンタル開始日	レンタル終了日	終了日	全継続	新規年月	終了年月
2	0000000026	1007	00009-000003	2016/6/25					
3	0000000026	1003	00002-000010	2018/6/20					
4	0000000026	1001	00004-000013	2018/10/1					
5	0000000026	1010	00066-000069	2018/10/1					
6	0000000014	1009	00007-010090	2018/10/1					
7	0000000041	1003	00002-000010	2019/8/3					
8	0000000044	1001	00002-110010	2019/1/22					
9	0000000021	1007	00009-000003	2011/6/1					
10	0000000021	1009	00007-010090	2018/10/1					
11	0000000070	1001	00066-000320	2018/12/2	2020/4/30				

- G列「レンタル開始日」とH列「レンタル終了日」はセルの書式設定で、西暦表示に変更してください。
- J列からM列を左表のように追加して、K列以外はセルの書式設定で日付の西暦表示としてください。K列は標準のまま大丈夫です。

※列構成につきましても、一部を非表示とし使用する項目だけの状態としておりますので、ご注意ください。

⑦ J列「終了日」は、レンタル終了日が空白（契約中）か指定期間外の時、2020/3/31とし、そうでない時は、元のレンタル終了日をセットします。

C	E	G	H	J	K
サービスコード	TAISコード	レンタル開始日	レンタル終了日	終了日	全継続
1007	00009-000003	2016/6/25		2020/3/31	
1003	00002-000010	2018/6/20		2020/3/31	
1001	00004-000013	2018/10/1		2020/3/31	

・ J 2セルに以下の計算式を入力し、全行に複写してください。

=IF (H2>DATE (2020, 3, 31), DATE (2020, 3, 31), IF (H2="", DATE (2020, 3, 31), H2))

・ 実行後、正しく設定されていることを確認してください。

⑧次に、全期間が継続中の行は、延べ貸出月数が12ヵ月ですので、K列「全継続」に12をセットします。

C	E	G	H	J	K
サービスコード	TAISコード	レンタル開始日	レンタル終了日	終了日	全継続
1007	00009-000003	2016/6/25		2020/3/31	12
1003	00002-000010	2018/6/20		2020/3/31	12
1001	00004-000013	2018/10/1		2020/3/31	12
1010	00066-000069	2018/10/1		2020/3/31	12
1009	00007-010090	2018/10/1		2020/3/31	12
1003	00002-000010	2019/8/3		2020/3/31	0
1001	00002-110010	2019/1/22		2020/3/31	12
1007	00009-000003	2011/6/1		2020/3/31	12
1009	00007-010090	2018/10/1		2020/3/31	12
1001	00066-000320	2018/12/2	2020/4/30	2020/3/31	12
1007	00009-000003	2019/7/15		2020/3/31	0

・ K 2セルに以下の計算式を入力し、全行に複写してください。

=IF (G2<DATE (2019, 4, 1), IF (H2="", 12, IF (H2>DATE (2020, 3, 31), 12, 0)), 0)

・ 実行後、正しく設定されていることを確認してください。

↳ 12とセットされた行は、ずっと継続中（延べ貸与月数が12）と言えます。  
 ↳ 0がセットされた行は、対象期間内に開始しているかあるいは終了していると言えます。

⑨次に、⑧で求めた全期間が継続中以外の行について、開始日からL列「新規年月」を、終了日からM列「終了年月」を求めます。

E	G	H	J	K	L	M
TAISコード	レンタル開始日	レンタル終了日	終了日	全継続	新規年月	終了年月
00009-000003	2016/6/25		2020/3/31	12		
00002-000010	2018/6/20		2020/3/31	12		
00004-000013	2018/10/1		2020/3/31	12		
00066-000069	2018/10/1		2020/3/31	12		
00007-010090	2018/10/1		2020/3/31	12		
00002-000010	2019/8/3		2020/3/31	0	2019/8/3	2020/3/31
00002-110010	2019/1/22		2020/3/31	12		
00009-000003	2011/6/1		2020/3/31	12		
00007-010090	2018/10/1		2020/3/31	12		
00066-000320	2018/12/2	2020/4/30	2020/3/31	12		
00009-000003	2019/7/15		2020/3/31	0	2019/7/15	2020/3/31
00007-000002	2019/7/15		2020/3/31	0	2019/7/15	2020/3/31
00002-000010	2018/4/16		2020/3/31	12		
00055-000072	2020/2/20		2020/3/31	0	2020/2/20	2020/3/31
00004-000013	2020/2/20		2020/3/31	0	2020/2/20	2020/3/31
00002-000010	2016/4/1		2020/3/31	12		
00007-000001	2019/8/1		2020/3/31	0	2019/8/1	2020/3/31
00002-110010	2020/3/17	2020/3/17	2020/3/17	0	2020/3/17	2020/3/17

・ L 2セルに以下の計算式を入力し、全行に複写してください。

=IF (K2<>12, IF (G2<DATE (2019, 4, 1), DATE (2019, 4, 1), G2), "")

・ M 2セルに以下の計算式を入力し、全行に複写してください。

=IF (K2<>12, J2, "")

※延べ月数の計算を簡単にするための措置です。

⑩対象期間内の延べ月数を計算します。

H	J	K	L	M	N
レンタル終了日	終了日	全継続	新規年月	終了年月	延べ月数
	2020/3/31	12			
	2020/3/31	12			
	2020/3/31	12			
	2020/3/31	12			
	2020/3/31	0	2019/8/3	2020/3/31	8
	2020/3/31	12			
	2020/3/31	12			
	2020/3/31	12			
2020/4/30	2020/3/31	12			
	2020/3/31	0	2019/7/15	2020/3/31	9
	2020/3/31	0	2019/7/15	2020/3/31	9
	2020/3/31	12			
	2020/3/31	0	2020/2/20	2020/3/31	2
	2020/3/31	0	2020/2/20	2020/3/31	2
	2020/3/31	12			
	2020/3/31	0	2019/8/1	2020/3/31	8
2020/3/17	2020/3/17	0	2020/3/17	2020/3/17	1

- N列「延べ月数」というセルを追加し、以下の計算式を入力後、全行に複写してください。

=IFERROR(DATEDIF(L2,M2,"M")+1,"")

- 同月解約も一ヶ月として処理します。

⑫新規の延べ人数、終了の延べ人数を求めます。

J	K	L	M	N	O	P
終了日	全継続	新規年月	終了年月	延べ月数	新規人数	終了人数
2020/3/31	12				0	0
2020/3/31	12				0	0
2020/3/31	12				0	0
2020/3/31	12				0	0
2020/3/31	0	2019/8/3	2020/3/31	8	1	0
2020/3/31	12				0	0
2020/3/31	12				0	0
2020/3/31	12				0	0
2020/3/31	12				0	0
2020/3/31	0	2019/7/15	2020/3/31	9	1	0
2020/3/31	0	2019/7/15	2020/3/31	9	1	0
2020/3/31	12				0	0
2020/3/31	0	2020/2/20	2020/3/31	2	1	0
2020/3/31	0	2020/2/20	2020/3/31	2	1	0
2020/3/31	12				0	0
2020/3/31	0	2019/8/1	2020/3/31	8	1	0
2020/3/17	0	2020/3/17	2020/3/17	1	1	1

- O列「新規人数」、P列「終了人数」というセルを追加します。

- O列には以下の計算式を入力後、全行に複写してください。

=IF(L2<>"",IF(G2>DATE(2019,3,31),1,0),0)

- P列には以下の計算式を入力後、全行に複写してください。

=IF(H2<>"",IF(H2<DATE(2020,3,31),1,0),0)

※同月解約のとき、月数は1、新規人数、終了人数も1となります。

※ここ迄の処理で、延べ貸与月数と、新規及び終了の数を求めるベースデータが完成したこととなります。

また、調査表には実人数となっていますが、今回の手順ではあくまで延べ人数としてしか集計することはできません。ご了承ください。



⑬TAISコードの絞り込みによる最終調整 → 当処理をサービス別に五回操作することで完成です。

	A	C	E	G	H	J	K	L	M	N	O	P
1	顧客コード	サービスコード	TAISコード	レンタル開始	レンタル終了	終了日	全継続	新規年月	終了年月	延べ月数	新規人数	終了人数
8	0000000044	1001	00002-110010	2019/1/22		2020/3/31	12				0	0
19	0000000071	1001	00002-110010	2020/3/17	2020/3/17	2020/3/17	0	2020/3/17	2020/3/17	1	1	1
29	0000000024	1001	00002-110010	2019/8/17		2020/3/31	0	2019/8/17	2020/3/31	8	1	0
31	0000000007	1001	00002-110010	2016/4/15		2020/3/31	12				0	0
34	0000000072	1001	00002-110010	2019/8/29		2020/3/31	0	2019/8/29	2020/3/31	8	1	0
48	0000000074	1001	00002-110010	2019/7/20		2020/3/31	0	2019/7/20	2020/3/31	9	1	0
50	0000000051	1001	00002-110010	2018/4/1		2020/3/31	12				0	0
52	0000000051	1001	00002-110010	2018/5/1		2020/3/31	12				0	0
59	0000000044	1001	00002-110010	2019/1/22		2020/3/31	12				0	0

- C列「サービスコード」を一つ指定します。ここでは「1001」とします。
- E列「TAISコード」を、先に求めた一番貸与件数の多いTAISだけとします。ここでは「00002-110010」とします。
- フィルター後、K列の合計とN列の合計が「延べ貸与月数」、O列が「新規利用開始の利用者数」、P列が「利用を終了した利用者数」となりますので、調査表に転記してください。

	TAISコード又は届出コード	延べ貸出月数（※）	新規利用開始の利用者数（実人数）	利用を終了した利用者数（実人数）
	(1) 車いす		月	人
(2) 特殊寝台	月	人	人	
(3) 手すり	月	人	人	
(4) 歩行器	月	人	人	
(5) 歩行補助つえ	月	人	人	

- 以下、あと4つのサービスコード別にフィルターで絞り込み、数値を求めてください。

以上